【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成21年2月26日(2009.2.26)

【公開番号】特開2007-189463(P2007-189463A)
【公開日】平成19年7月26日(2007.7.26)
【年通号数】公開・登録公報2007-028
【出願番号】特願2006-5391(P2006-5391)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｂ　1/40　(2006.01)
Ｈ０４Ｍ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｂ　1/40
Ｈ０４Ｍ　1/00　R

【手続補正書】
【提出日】平成21年1月13日(2009.1.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電源部からの電力により動作するアクティブモードと、受信したキャリアにより起電して動作するパッシブモードを切り替えて通信する通信手段と、
前記通信手段をアクティブモードにして通信相手の機器に対してアクティブモードでの通信を要求し、該要求に対する応答に応じて、前記通信手段をパッシブモードにする制御手段と
を備えることを特徴とする通信装置。
【請求項２】
前記制御手段は、前記要求に対して応答がない場合あるいは不受諾の応答を受信した場合には、前記通信手段をアクティブモードにしたままで通信を行うことを特徴とする請求項１に記載の通信装置。
【請求項３】
利用者が入力を行うための操作手段を更に備え、
前記通信手段は、前記操作手段による操作が行われるとアクティブモードにすることを特徴とする請求項１に記載の通信装置。
【請求項４】
電源部からの電力により動作するアクティブモードと、受信したキャリアにより起電して動作するパッシブモードを切り替えて通信する通信装置の制御方法であって、
アクティブモードにおいて通信相手の機器に対してアクティブモードでの通信を要求する工程と、
前記要求に対する応答に応じて、パッシブモードに切り替える工程と
を備えることを特徴とする通信装置の制御方法。
【請求項５】
電源部からの電力により動作するアクティブモードと、受信したキャリアにより起電して動作するパッシブモードを切り替えて通信する通信装置を制御するためのプログラムであって、
アクティブモードにおいて通信相手の機器に対してアクティブモードでの通信を要求す

る工程と、
前記要求に対する応答に応じて、パッシブモードに切り替える工程と
をコンピュータにより実行させることを特徴とするプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
上記目的を達成するために本発明は以下の構成を有する。すなわち、電源部からの電力により動作するアクティブモードと、受信したキャリアにより起電して動作するパッシブモードを切り替えて通信する通信手段と、
前記通信手段をアクティブモードにして通信相手の機器に対してアクティブモードでの通信を要求し、該要求に対する応答に応じて、前記通信手段をパッシブモードにする制御手段とを備えることを特徴とする。